

## 2022年7月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年12月10日

上場会社名 株式会社カラダノート 上場取引所 東  
 コード番号 4014 URL <https://corp.karadanote.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)佐藤 竜也  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役コーポレート本部長 (氏名)平岡 晃 (TEL)03(4431)3770  
 四半期報告書提出予定日 2021年12月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年7月期第1四半期の業績 (2021年8月1日～2021年10月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年7月期第1四半期	224	△20.4%	△23	—	△22	—	△15	—
2021年7月期第1四半期	282	—	115	—	100	—	63	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年7月期第1四半期	△2.45	△2.42
2021年7月期第1四半期	12.12	11.68

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年7月期第1四半期	1,127	969	86.0
2021年7月期	1,137	967	85.1

(参考) 自己資本 2022年7月期第1四半期 969百万円 2021年7月期 967百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年7月期	—	—	—	—	—
2022年7月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年7月期の業績予想 (2021年8月1日～2022年7月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,400	39.7	280	25.4	280	34.5	176	26.6	28.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期(累計)の業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年7月期1Q	6,293,700株	2021年7月期	5,996,000株
② 期末自己株式数	2022年7月期1Q	一株	2021年7月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年7月期1Q	6,268,800株	2021年7月期1Q	5,247,385株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料の2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(会計上の見積りの変更)	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

厚生労働省の2020年人口動態統計によると、日本人の国内出生数は84万8百人となり、年々減少傾向にあるものの、株式会社電通「2020年 日本の広告費」によるとインターネット広告市場は、世界的な新型コロナウイルス感染症（新型コロナ）拡大があったものの、前年比5.9%増の2兆2,290億円と今後も順調な成長が見込まれております。

そのような環境の下、当社においては、「家族の健康を支え 笑顔をふやす」というコーポレートビジョンのもと、家族とのつながりを起点としたファミリーデータプラットフォーム事業を推進しております。

当第1四半期累計期間においては、わが国の経済は新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にある中、感染症対策やワクチン接種の普及が促進され、経済活動の持ち直しの動きが続くことが期待されるものの、依然として不透明な状況となっております。

このような環境の中、当第1四半期累計期間においては、保険代理事業「かぞくの保険」に加えて宅配水事業「カラダノートウォーター」の提供を開始し、従来のユーザー送客によるフローモデルから自社サービス提供によるストックモデルへの切替に注力いたしました。今後のストックモデルの中長期的な売上拡大に向け、新規サービスの開発、コールセンターの体制強化や広告宣伝費に先行投資をいたしました。当第1四半期累計期間におけるストックモデルの売上高については、切替を開始した前年第3四半期の売上高5,124千円から23,375千円増加し28,499千円と順調に推移しております。全体の売上高の中、ストックモデルの売上比率については、切替を開始した前年第3四半期の2.2%から順調に伸長し、約6倍の12.7%となりました。

また、新型コロナウイルス感染症の流行による社会全体でのデジタル・トランスフォーメーション（DX）ニーズの高まりにより、ライフイベントマーケティング支援プロダクトである「かぞくアシスタント」の問い合わせの増加や、オンラインでの保険見直しニーズの高まりなど、当社をとりまく環境は概ね順調に推移しております。

その結果、当第1四半期累計期間の売上高は224,611千円（前年同期比△20.4%）となりました。営業損失は23,425千円（前年同期115,026千円の営業利益）、経常損失は22,235千円（前年同期100,927千円の経常利益）、四半期純損失は15,424千円（前年同期63,605千円の四半期純利益）となりました。

また、当社の事業セグメントはファミリーデータプラットフォーム事業のみの単一セグメントであるため、セグメントごとの記載をしておりません。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は1,061,424千円（前事業年度末比29,394千円減少）となりました。これは主に、現金及び預金の減少25,975千円、売掛金の減少11,663千円によるものであります。固定資産は66,044千円（前事業年度末比19,047千円増加）となりました。これは主に、ストックモデルへの切替による体制強化に伴う長期前払費用の増加11,096千円、繰延税金資産の増加5,679千円によるものであります。

以上の結果、総資産は1,127,468千円（前事業年度末比10,347千円減少）となりました。

#### (負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は152,946千円（前事業年度末比13,147千円減少）となりました。これは主に、前受金の増加31,900千円があった一方で、未払法人税等の減少50,830千円、未払消費税の減少22,148千円があったことによるものであります。固定負債は5,203千円（前事業年度末比1,334千円増加）となりました。

以上の結果、負債合計は158,150千円（前事業年度末比11,812千円減少）となりました。

#### (純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は969,318千円（前事業年度末比1,465千円増加）となりました。これは主に、新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ8,445千円増加した一方で、四半期純損失の計上により利益剰余金が15,424千円減少したことによるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年7月期の業績予想につきましては、2021年9月10日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年7月31日)	当第1四半期会計期間 (2021年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	964,940	938,965
売掛金	108,069	96,406
原材料及び貯蔵品	11,541	5,746
その他	6,267	20,307
流動資産合計	1,090,819	1,061,424
固定資産		
有形固定資産	15,825	16,902
無形固定資産	7,218	6,788
投資その他の資産	23,952	42,353
固定資産合計	46,996	66,044
資産合計	1,137,816	1,127,468
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	29,288	30,706
未払法人税等	52,115	1,285
未払金	36,828	55,300
その他	47,861	65,653
流動負債合計	166,093	152,946
固定負債		
資産除去債務	3,868	5,203
固定負債合計	3,868	5,203
負債合計	169,962	158,150
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	286,023	294,468
資本剰余金	276,023	284,468
利益剰余金	405,806	390,381
株主資本合計	967,853	969,318
純資産合計	967,853	969,318
負債純資産合計	1,137,816	1,127,468

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2020年8月1日 至 2020年10月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2021年8月1日 至 2021年10月31日)
売上高	282,189	224,528
売上原価	41,153	97,618
売上総利益	241,036	126,909
販売費及び一般管理費	126,009	150,335
営業利益又は営業損失(△)	115,026	△23,425
営業外収益		
受取利息	1	4
還付消費税等	—	1,155
その他	—	30
営業外収益合計	1	1,189
営業外費用		
上場関連費用	14,100	—
営業外費用合計	14,100	—
経常利益又は経常損失(△)	100,927	△22,235
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	100,927	△22,235
法人税、住民税及び事業税	34,250	△1,131
法人税等調整額	3,071	△5,679
法人税等合計	37,322	△6,810
四半期純利益又は四半期純損失(△)	63,605	△15,424

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。